

丹波小  
学校便り



# 夢の泉

発行日

平成 30 年 11 月 6 日

第 7 号

文責：小宮山



## マイタケ大収穫

9月末からマイタケの収穫を行いました。なんと、今年度伏せこみをしたところからも、昨年度伏せこみをしたところからもマイタケが成長し、大収穫となりました。児童はそれぞれマイタケを持ち帰りましたので、御家庭でも秋の味覚を味わえたのではないのでしょうか。残りは給食でもいただきました。自分たちで育てたものを食すことは格別な感じがします。お世話になった丹波山倶楽部の方々、どうもありがとうございました。



## お話の会

9月25日(火)、「お話の会」。図書委員会が回文(言葉遊びの一種で、上から読んでも下から読んでも同じで意味が通じる文)を劇で紹介し、絵本「ごめんね ともだち」は読み聞かせを行いました。休み時間や放課後に練習を積んだため、本番でははきはきと大きな声で紹介ができました。丹波小学校司書の渡辺さんより「おさかなどろぼう」の本を紹介されました。

勝沼図書館の青柳さんからは「ほげちゃん」という本を題材に、アニメーションを行っていただきました。本を通じて、内容、登場人物、挿絵等、多方面から質問を出していただきましたが、児童はグループで相談し回答していました。仲間づくりの要素もあり、とても楽しい活動となりました。



## 丹菅音楽祭

丹菅音楽祭が小菅中学校で開催されました。この丹菅音楽祭は丹波山村と小菅村の小中4つの学校が協力して、音楽活動を披露する場です。今年度は隣の小菅村が会場でした。運動会のマーチングを含め、日々練習を積んでいた丹波小学校の児童は、少ない人数ながらも伸びのある大きな声で合唱をし、速いリズムの演奏を上手にこなしていました。それなりの練習をこなしてきましたが、丹波小の児童は本番に強い、そう感じさせるほど立派なオープニングの役割をこなしました。先輩になる丹波中学の迫力のある演奏や美しいハーモニーもすばらしく、小菅中学校の琴の演奏も普段触れることのない音楽で、聴きごたえがありました。残念ながら水疱瘡の流行のため小菅小学校は欠席でしたが、ビデオ放映により元気な歌声や演奏を披露してくれました。特別演奏は二胡という楽器を取り入れた演奏で、幅広い音楽を堪能できました。来年は丹波山村が会場になりますので、保護者や地域の方も気軽にお越しになっていただければと思います。

# 丹菅統一授業研

丹菅音楽祭と同じく、小菅村と一緒に教育研究も行っています。毎年その研究の成果を授業を通して公開するのですが、4年に一度の当番として、今回は丹波小学校が会場となりました。代表する3つの授業は全て丹波小学校の1学年、4学年、6学年で行われました。

## 1 学年 国語

### 「じどう車くらべ」



挿絵や図鑑、自分の知識などを基に、文と文のつながりを意識しながら、はしご車の「しごと」と「つくり」を捉えて書くことを行いました。



## 4 学年 理科

### 「ものの体積と温度」



水をあたためたりひやしたりして体積変化を実確かめた後、空気の体積変化と比較し、温度変化と関連付けて説明することを行いました。



## 6 学年 社会

### 「長く続いた戦争と人々の暮らし」



戦時体制下での丹波山村の人々の生活について、資料を活用して調べたことをまとめることを行いました。

